



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社鉄人化ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2404 URL <http://www.tetsujin.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 根来 拓也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 浦野 敏男 (TEL) 03-3793-5117
 定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	7,069	7.2	69	—	36	862.6	4	△27.6
2023年8月期	6,592	12.1	△83	—	3	—	5	△82.8

(注) 包括利益 2024年8月期 4百万円(396.0%) 2023年8月期 0百万円(△93.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	0.30	0.30	1.9	0.8	1.0
2023年8月期	0.42	0.42	2.7	0.1	△1.3

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 一百万円 2023年8月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	4,326	223	4.9	16.02
2023年8月期	4,322	220	4.8	15.59

(参考) 自己資本 2024年8月期 211百万円 2023年8月期 205百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	425	△221	△346	738
2023年8月期	217	△107	△182	880

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,030	13.6	182	164.0	158	333.7	105	—	7.96

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期	13,647,362株	2023年8月期	13,647,362株
② 期末自己株式数	2024年8月期	459,100株	2023年8月期	461,300株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	13,186,363株	2023年8月期	13,185,384株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	388	△90.6	15	—	131	—	172	—
2023年8月期	4,140	0.4	△281	—	△289	—	△186	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期	13.08		13.04					
2023年8月期	△14.17		—					

個別経営成績に関する注記

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年8月期	2,929		△358		△12.7	△28.11		
2023年8月期	3,831		△142		△4.1	△11.94		

(参考) 自己資本 2024年8月期 △370百万円 2023年8月期 △157百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が弱まり、個人消費やインバウンド需要の増加により景気は回復基調となりました。一方、社会経済活動の正常化が進んだことでインフレ基調となり、原材料・エネルギー価格の高騰や物価上昇、急激な為替変動などの影響により、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが展開する店舗系サービス事業におきましては、原材料・仕入・物流価格の上昇や賃金上昇と人手不足が顕在化しており、店舗運営に厳しい環境となっております。

このような状況の中、当社グループでは、コロナ禍から取り組んでいます、業務のDX化を伴う作業やコストの効率化と収益性の見込める事業への積極的な投資を進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高7,069百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益69百万円（前年同期営業損失83百万円）、経常利益36百万円（前年同期経常利益3百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益4百万円（前年同期比27.6%減）となりました。セグメントの業績は次のとおりです。

(カラオケルーム運営事業)

当連結会計年度におけるカラオケルーム運営事業の売上高は3,835百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は456百万円（前年同期比82.5%増）となりました。

当事業においては、長期化したコロナ禍でのライフスタイルの変化（テレワーク、家飲み、二次会控えなど）による利用者の減少で厳しい事業環境が続いておりましたが、繁華街での回復が遅れているものの、行動制限の緩和によりビジネス街や郊外・地密着店舗では回復傾向となりました。

運営面におきましては、引続きコスト効率的な運用を推進いたしました。

事業面におきましては、「プラスK事業」の名目で多層階店舗の一部業態変更（飲食事業2店舗）による収益重視の対応を実施いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の規制緩和以降、好調に推移していましたアニメ・ゲーム等コンテンツとのコラボレーション企画に特化したコラボ完全特化型カラオケ店舗「カラオケの鉄人 コラボミックス」を福岡・天神と大阪・なんばに出店いたしました。

比較可能な既存店※は35店舗で売上高は前年同期比110.5%となりました。

(飲食事業)

当連結会計年度における飲食事業の売上高は1,207百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は56百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

飲食事業は子会社である株式会社直久が運営する「直久」をブランドとしたラーメン店舗（直営8店舗、FC6店舗、業務受託1店舗）を主力とするほか、「赤から」、「京都勝牛」、「福包酒場」を運営しております。

比較可能な直営・既存店※は7店舗3事業所で売上高は前年同期比104.2%となりました。

当事業においては、コロナ前の水準まで回復となりましたが、原材料や物流・光熱費の高騰、人手不足により利益面並びに運営面で課題の残る状況となりました。

(美容事業)

当連結会計年度における美容事業の売上高は1,782百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は126百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

美容事業は、中京エリアを商圏とする株式会社Rich to（10店舗）と首都圏エリアを主な商圏とするピアンカグループ（首都圏エリア：44店舗、中京エリア：2店舗）により運営しております。

当事業では、スタイリストの採用・教育を重要な経営戦略事項と位置付けており、当連結会計年度においては新卒者を多数採用しております。また、事業運営上の特性として女性が活躍する職場となっており、女性管理職の登用を積極的に推進しております。

出店実績としては、当連結会計年度において4店舗を出店し、直営店56店舗となりました。

比較可能な既存店※は46店舗で売上高は前年同期比97.9%となりました。

当事業は、設備投資額が他の事業（カラオケ、飲食）に比べ希少であることから積極的な出店が可能であると判断しております。また、「Rich to」と「Bianca」双方のスタッフの意見交換や技術研修を通してお客様サービス向上を図るとともに、双方ブランド化を図ってまいります。

(メディア・コンテンツ企画)

当連結会計年度におけるメディア・コンテンツ企画の売上高は66百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益は56百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

「カラオケの鉄人モバイル」サイトを中心に運営を行っておりますが、スマートフォンでの利用者の減少傾向により減収・減益となっております。

(その他)

当連結会計年度におけるその他の売上高は178百万円（前年同期比66.9%増）、セグメント損失は144百万円（前年同期セグメント損失135百万円）となりました。

2022年3月より新事業の試みとして開始したゲームコミュニケーション事業（通称e-sports事業）については、引続き「TZ Game Labs」の名称でゲームイベントの企画・運営等を実施いたしました。また、「とちぎeスポーツフェスタ2023」の企画・運営に参加いたしました。

※比較可能な既存店とは、営業開始後12ヶ月を経過して営業を営んでいる店舗で前年対比が可能なものをいいます。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比較して4百万円増加し、4,326百万円となりました。流動資産は1,577百万円となり8百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金等が141百万円減少、売掛金が63百万円増加、未収消費税等が81百万円増加、原材料が5百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,748百万円となり4百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産が96百万円増加、のれんが31百万円減少及び差入保証金が73百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は前連結会計年度末に比較して0百万円増加し、4,102百万円となりました。流動負債は2,084百万円となり803百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1,632百万円減少し、短期借入金が600百万円増加、設備等に係る未払金が32百万円増加、未払費用が96百万円増加、未払消費税等が92百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は2,017百万円となり804百万円増加いたしました。主な要因は、長期借入金が786百万円増加、長期未払金が26百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比較して3百万円増加し、223百万円となりました。主な要因は、利益剰余金に含まれる親会社株主に帰属する当期純利益4百万円と新株予約権、為替換算調整勘定等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比較して141百万円減少し、738百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は425百万円（前連結会計年度は217百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益33百万円、助成金等収入44百万円等による増加と、減損損失1百万円等による減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は221百万円（前連結会計年度は107百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出204百万円、資産除去債務の履行による支出13百万円と、差入保証金の回収34百万円等による収入の増加によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は346百万円（前連結会計年度は182百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金による収入一千円、長期借入金による収入1,697百万円、長期借入金の返済2,542百万円、リース債務の返済28百万円の支出による減少によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループの業績は、その事業規模からカラオケルーム運営事業に大きく依存しております。当該事業は、忘年会・新年会等季節の第2四半期と歓送迎会等季節の第3四半期に売上が偏重する傾向があるため、各四半期連結会計期間の業績が必ずしも通期の業績に連動するとは限りません。

また、当社グループは、コロナ禍で業績へ多大な影響を及ぼした同一業種に過度に依存する収益構造を改善すべく、美容事業へ積極的に投資しており、また、他の事業への投資もM&Aを含め積極的に検討する方針ですが、投資した事業の収益が想定外に悪化した場合には、当社グループ全体の業績が影響を受ける可能性があります。

以上のことを踏まえた2025年8月期の業績予想は以下のとおりです

・カラオケルーム運営事業

当事業におきましては、将来の持続的な収益を期待できる店舗に積極的に設備投資を実施いたします。また、コラボ完全特化型カラオケ店舗「カラオケの鉄人 コラボミックス」の展開を推移することにより、事業収益の拡大を図ってまいります。

・飲食事業

当事業におきましては、新規出店による事業収益の拡大と食材工場の運営の効率化を図ってまいります。

・美容事業

当事業におきましては、第2の主力事業として、引続き積極的な出店を図るとともにスタイリストの人財採用と技術教育を強化し、事業収益の拡大を図ってまいります。

・メディア・コンテンツ企画

当事業におきましては、スマートフォンでの利用者の減少傾向により当期同等程度の減収・減益を見越しております。

以上により、次期の業績見通しにつきましては、通期で売上高8,030百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益182百万円（前年同期比164.0%増）、経常利益158百万円（前年同期比333.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益105百万円（前年親会社株主に帰属する当期純利益4.0百万円）を見込んでおります。

※当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内を主たる事業の活動地域としていること、連結財務諸表の期間比較可能性を確保すること等を考慮し、日本基準を採用しております。今後の国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、当社グループの事業展開や国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,355	738,605
売掛金	266,626	330,236
商品及び製品	29,927	40,082
原材料及び貯蔵品	85,435	90,568
前払費用	182,750	194,889
未収還付法人税等	20,414	—
未収消費税等	—	81,505
その他	105,010	104,588
貸倒引当金	△1,940	△2,974
流動資産合計	1,568,579	1,577,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,541,176	2,684,915
減価償却累計額	△1,609,008	△1,658,763
建物及び構築物(純額)	932,168	1,026,151
機械及び装置	7,311	7,513
減価償却累計額	△4,143	△4,905
機械及び装置(純額)	3,167	2,608
車両運搬具	4,209	4,209
減価償却累計額	△4,209	△4,209
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,046,231	1,095,152
減価償却累計額	△988,939	△1,009,795
工具、器具及び備品(純額)	57,291	85,356
土地	327,468	327,468
リース資産	326,308	63,854
減価償却累計額	△289,095	△46,163
リース資産(純額)	37,213	17,690
建設仮勘定	18,097	12,903
有形固定資産合計	1,375,407	1,472,178
無形固定資産		
のれん	98,605	66,839
その他	17,456	14,391
無形固定資産合計	116,061	81,230
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,185	2,550
差入保証金	1,246,763	1,173,129
その他	14,315	22,950
貸倒引当金	△3,271	△3,290
投資その他の資産合計	1,261,993	1,195,339
固定資産合計	2,753,462	2,748,748
資産合計	4,322,041	4,326,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,302	137,915
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,151,132	519,028
リース債務	28,132	8,924
未払金	18,430	51,396
未払費用	369,859	466,421
未払法人税等	15,820	28,063
資産除去債務	29,040	—
賞与引当金	19,785	25,936
ポイント引当金	18,602	18,652
その他	118,391	228,646
流動負債合計	2,888,496	2,084,984
固定負債		
長期借入金	719,462	1,505,615
リース債務	15,366	11,653
資産除去債務	422,686	419,560
その他	55,798	80,910
固定負債合計	1,213,312	2,017,738
負債合計	4,101,808	4,102,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	151,037	151,146
利益剰余金	185,778	189,797
自己株式	△170,882	△170,067
株主資本合計	215,933	220,876
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,348	△9,541
その他の包括利益累計額合計	△10,348	△9,541
新株予約権	14,647	12,190
純資産合計	220,232	223,525
負債純資産合計	4,322,041	4,326,248

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	6,592,100	7,069,182
売上原価	5,746,352	6,081,654
売上総利益	845,747	987,528
販売費及び一般管理費	929,666	918,272
営業利益又は営業損失(△)	△83,918	69,256
営業外収益		
受取利息	965	69
受取保険金	22,178	6,184
助成金収入	82,188	41,554
為替差益	4,082	—
その他	24,060	24,188
営業外収益合計	133,475	71,996
営業外費用		
支払利息	35,191	33,340
支払手数料	7,657	69,304
為替差損	—	718
貸倒引当金繰入額	1,940	—
その他	981	1,445
営業外費用合計	45,770	104,808
経常利益又は経常損失(△)	3,786	36,444
特別利益		
固定資産売却益	—	883
資産除去債務戻入益	31,926	258
助成金収入	4,718	—
新株予約権戻入益	1,594	1,534
収用補償金	125,076	—
特別利益合計	163,316	2,676
特別損失		
店舗閉鎖損失	30,160	1,502
減損損失	68,911	1,925
固定資産除却損	8,783	2,431
その他	4,790	—
特別損失合計	112,644	5,859
税金等調整前当期純利益	54,458	33,262
法人税、住民税及び事業税	48,827	27,607
法人税等調整額	79	1,635
法人税等合計	48,906	29,243
当期純利益	5,551	4,019
親会社株主に帰属する当期純利益	5,551	4,019

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益	5,551	4,019
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,578	806
その他の包括利益合計	△4,578	806
包括利益	972	4,825
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	972	4,825
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	50,000	593,118	△261,918	△171,364	209,835	△5,769	△5,769	16,786	220,853
当期変動額									
欠損填補		△442,145	442,145		—				—
自己株式の処分		64		481	546				546
親会社株主に帰属する当期純利益			5,551		5,551				5,551
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△4,578	△4,578	△2,139	△6,718
当期変動額合計	—	△442,080	447,697	481	6,097	△4,578	△4,578	△2,139	△620
当期末残高	50,000	151,037	185,778	△170,882	215,933	△10,348	△10,348	14,647	220,232

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	50,000	151,037	185,778	△170,882	215,933	△10,348	△10,348	14,647	220,232
当期変動額									
欠損填補					—				—
自己株式の処分		109		814	924				924
親会社株主に帰属する当期純利益			4,019		4,019				4,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						806	806	△2,456	△1,650
当期変動額合計	—	109	4,019	814	4,943	806	806	△2,456	3,292
当期末残高	50,000	151,146	189,797	△170,067	220,876	△9,541	△9,541	12,190	223,525

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	54,458	33,262
減価償却費	182,790	157,119
減損損失	68,911	1,925
のれん償却額	30,731	29,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,934	1,053
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△217	49
受取利息及び受取配当金	△965	△69
支払利息	35,191	33,340
支払手数料	—	69,304
為替差損益 (△は益)	△4,082	718
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,266	△60,796
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△34,661	△15,287
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,187	18,613
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,114	6,150
新株予約権戻入益	△1,594	△1,534
受取補償金	△125,076	—
助成金収入	△86,907	△41,554
受取保険金	△22,178	△6,184
有形固定資産除売却損益 (△は益)	8,783	1,547
店舗閉鎖損失	30,160	1,502
未払又は未収消費税等の増減額	52,768	11,073
その他	△79,298	180,772
小計	70,783	420,847
利息及び配当金の受取額	965	69
利息の支払額	△35,191	△30,941
法人税等の支払額	△53,295	△107,110
法人税等の還付額	—	92,510
助成金の受取額	86,907	44,341
保険金の受取額	22,178	6,184
補償金の受取額	125,076	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,423	425,900
投資活動によるキャッシュ・フロー		
店舗閉鎖等による支出	△30,160	△1,463
長期前払費用の取得による支出	△33,354	△25,447
有形固定資産の取得による支出	△128,713	△204,213
有形固定資産の売却による収入	—	883
無形固定資産の取得による支出	△10,020	△150
貸付けによる支出	△1,260	△362
貸付金の回収による収入	1,233	1,394
資産除去債務の履行による支出	△53,150	△13,988
差入保証金の差入による支出	△6,934	△12,742
差入保証金の回収による収入	154,759	34,602
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	58	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,541	△221,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	1,697,000
長期借入金の返済による支出	△647,651	△2,542,951
支払手数料の支払額	—	△71,354
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	600,000
リース債務の返済による支出	△34,362	△28,774
自己株式の処分による収入	1	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,012	△346,077
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,117	△195
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△71,013	△141,749
現金及び現金同等物の期首残高	951,368	880,355
現金及び現金同等物の期末残高	880,355	738,605

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、顧客に対するサービスの内容により、事業を「カラオケルーム運営事業」「飲食事業」「美容事業」「メディア・コンテンツ企画事業」に区分し、それぞれの事業で戦略を策定し、事業を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結損益 計算書計 上額 (注)3
	カラオケ ルーム運 営事業	飲食事業	美容事業	メディア ・ コンテ ンツ企 画事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,679,654	1,007,551	1,722,512	75,593	6,485,310	106,789	6,592,100	—	6,592,100
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,679,654	1,007,551	1,722,512	75,593	6,485,310	106,789	6,592,100	—	6,592,100
セグメント利益 又は損失(△)	250,078	64,674	166,297	64,411	545,462	△135,973	409,488	△493,406	△83,918

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△493,406千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△493,406千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	カラオケ ルーム運 営事業	飲食事業	美容事業	メディア ・ コンテ ンツ企 画事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,835,055	1,207,466	1,782,183	66,148	6,890,853	178,328	7,069,182	—	7,069,182
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,835,055	1,207,466	1,782,183	66,148	6,890,853	178,328	7,069,182	—	7,069,182
セグメント利益 又は損失(△)	456,511	56,204	126,687	56,368	695,772	△144,972	550,800	△481,544	69,256

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△481,544千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△481,544千円が含まれており、これは主に親会社本社のグループ管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、カラオケルーム運営事業を主たる事業としており、一般のカラオケルームでの楽曲・飲食サービス提供の他、アニメ作品等とコラボレーションしたカラオケルーム運営をしております。その他、ラーメン店を主体とした飲食事業、まつ毛エクステンション&ネイルを主体とした美容事業、着メロ等の配信を行うメディア・コンテンツ企画事業を事業ドメインとして運営しております。

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

報告セグメント	契約区分	売上高	構成比
カラオケルーム運営事業	カラオケルーム売上	3,412,209	51.7%
	コラボルーム売上	267,444	4.1%
飲食事業	店舗販売	805,098	12.2%
	卸売	84,349	1.3%
	F C	118,103	1.8%
美容事業	施術サービス	1,633,706	24.8%
	物販	82,382	1.3%
	卸売	6,423	0.1%
メディア・コンテンツ企画事業		75,593	1.1%
その他		106,789	1.6%
顧客との契約から生じる収益		6,592,100	100.0%
その他の収益		—	—%
外部顧客への売上高		6,592,100	100.0%

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

報告セグメント	契約区分	売上高	構成比
カラオケルーム運営事業	カラオケルーム売上	3,447,398	48.8%
	コラボルーム売上	387,656	5.5%
飲食事業	店舗販売	1,039,885	14.7%
	卸売	69,365	1.0%
	F C	98,216	1.4%
美容事業	施術サービス	1,673,473	23.7%
	物販	107,700	1.5%
	卸売	1,009	0.0%
メディア・コンテンツ企画事業		66,148	0.9%
その他		178,328	2.5%
顧客との契約から生じる収益		7,069,182	100.0%
その他の収益		—	—%
外部顧客への売上高		7,069,182	100.0%

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「アニメ等コラボレーション事業」等を含んでおります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	
1株当たり純資産額	15.59円	1株当たり純資産額	16.02円
1株当たり当期純利益金額	0.42円	1株当たり当期純利益金額	0.30円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	0.42円	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	0.30円

(注) 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後算1株当たり当期純利益金額定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益金額又は当期純損失(△)	0.42円	0.30円
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は 当期純損失(△)(千円)	5,551	4,019
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金 額又は当期純損失(△)(千円)	5,551	4,019
期中平均株式数(株)	13,185,384	13,186,363
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	0.42	0.30円
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	26,103	47,857
(うち新株予約権)	26,103	47,857
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象)

(資金の借入)

1. 借入の目的

企業買収における株式取得資金への充当を行うことを目的に、金融機関より資金の借入を行うものです。

2. 借入の概要

借入先	株式会社横浜銀行
借入金額	530,000,000円
借入金利	1.2%+1ヶ月Tibor
借入期間	1ヶ月
借入実行日	2024年9月30日
返済方法	期限一括返済
担保・保証	買収先企業による連帯保証

3. 業績への影響

2024年8月期における当社連結業績に与える影響はありません。

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2024年9月27日開催の取締役会において、下記のとおり、株式会社鳥竹の発行済み株式の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、2024年9月30日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得しました。

1. 株式取得の理由

当社グループは、首都圏エリアにてカラオケルーム運営事業、飲食事業、首都圏エリアと中京エリアにて美容事業（まつ毛エクステ・ネイルサロン）を展開しております。飲食事業においては、創業百年の歴史をもつラーメン直久ブランドとFCブランドの赤から・牛カツ京都勝牛、福包酒場を展開しております。

本件子会社化する対象会社は、創業時から半世紀に渡り美味しい焼き鳥を召し上がっていただくことをかかげ、お客様に愛される確固たるブランドを築き上げることに成功しております。

当社グループは、対象会社が培ってきたレガシーを受け継ぎつつ、相乗効果で飲食事業の発展を図ってまいります。

2. 株式取得の相手先の名称

間島 京子（株式会社鳥竹 代表取締役）

鈴木 恵美子（株式会社鳥竹 代表取締役）

3. 取得する会社の名称、事業内容、規模

(1) 名称	株式会社鳥竹		
(2) 所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目6番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 間島 京子、代表取締役 鈴木 恵美子		
(4) 事業内容	大衆飲食店、仕出し弁当等		
(5) 資本金	10,000千円		
(6) 設立年月日	1970年6月1日		
(7) 大株主及び持株比率	間島 京子 50%、鈴木 恵美子 50%		
(8) 当社との関係	記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績			
決算期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
純資産額	516,964千円	526,773千円	543,395千円
総資産額	722,682千円	682,056千円	652,335千円
売上高	378,068千円	473,627千円	451,721千円
営業利益	△68,303千円	25,945千円	25,069千円
経常利益	38,550千円	46,712千円	25,464千円
当期純利益	30,494千円	9,809千円	16,621千円

※同社の消費税等の会計処理は、税込み方式を採用しております。

4. 株式取得の時期

2024年9月30日 株式譲渡契約締結

2024年9月30日 株式譲渡実行

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(1) 取得する株式の数 14,000株

(2) 取得価額 相手先の意向及び守秘義務契約により非開示とさせていただきます。

なお、取引価額については、財務・労務・法務等のデューデリジェンスを外部専門家に依頼したうえで、当社の本件プロジェクトチームが合理的に評価しております。

(3) 取得後の持分比率 100%

6. 支払資金の調達方法

金融機関からの借入

7. その他

特定子会社に該当いたします。